社告（廣告料改正）

時事新報第一紙面

廣告料一行金二十五錢

時事新報紙面の廣告が世上の新聞紙に勝れて効能あるは今更申す迄もなけれど殊に其第一紙面は他の紙面に倍して効能著しきより從來同紙面に掲載方依頼の向多く其都度取捨選擇に苦しむのみならず就ては自今第一紙面に限り廣告料一行廿五錢に改正候間左様御承知被成下度候也

布哇へ社員特派

移民拒絶事件の眞相視察の爲め今回我時事新報社は社員西師意氏を軍艦浪速に便乘せしめて布哇國に特派したり談判の模様は勿論、同國の事情は最も迅速なる方法を以て報道す可し

社説

技師の責任に就て

近來技師の德義責任に就て云々するもの多きは全く技師組會に不良の輩ありて已れの職責の重大なるを顧みず往々不德義の擧あるが爲めに外ならず目下殖産事業の勃興に運れて技師の需用は日に增加するにも拘はらず其供給は誠に不足にして常に人物の拂底を告ぐる次第なれば其社會に不良未熟の輩が横行して或は擅任したる工事の設計を誤り或は賄賂詐欺等の行はるゝ風聞あるは自然の情勢なりとは云ひながら技師社會の深く自から恥づ可き所にして苟も文明の學者を以て自から任する者が破廉恥の醜行とは何事ぞ我輩は單に之を法律に問はず文明進歩の大罪人として筆誅するものなり然りと雖も又顧て世間一般の有様を見れば概して技師の選擇に無頓着にして其伎倆人物の如何を問はず大切の工事を擅任せしむる者多く有名なる大舶渠工事に於て其監督工事を造家技師に一任したるなどの奇談さへもありて其亂暴無頓着なる唯驚くの外なしと云ふ技師の不良未熟なるは技師の罪なりと雖も抑も斯る技師錯をして世間に横行せしむるは社會一般學問の思想に乏しく人を擇ぶの明なきが故にして罪の根本は社會の無學に在りと云はざる可からず例へば家に病人あるとき胃病肺患それ〳〵專門の醫師を選ぶは勿論その專門醫の中にも伎倆の巧拙を吟味して誤るみとなく始めて良醫を得て相應の治療を施す可し世間普通のみとなるに然るに今病に醫を選ぶの必要を知り一寸したる風邪にも醫藥の事を心配しながら數百萬の財産に關する大工事を擅任せしむる技師の選擇には全く不注意にして單に錢のみを愛しみ其結果遂に不良未熟の徒の跋扈を許すとは不都合千萬なりと云ふ可し畢竟世人が今日文明流の工業を興さんとして其身に文明流の教育なく思想なく眼中唯錢の多少を見るのみにして人を見るの明なく遂に却て敲德技師の爲めに眼を掠められるゝみとなれば今の技師を嬌めんとならば世間一般學理の大切なるを悟り從今ひ自から專門家ならざるも一通りの理論丈けは了解して技師を選ぶにも大凡その方針を定むると同時に技師も亦自から其身の重きを知り少小の時より能く學び得たる其道の爲に盡すの義務あるを忘れず仮令金業者も技師も双方共に少しく氣品を高くして錢以上に見る所なかる可らず工業本來財利の爲めなりと云ふ我輩素より之を知らざるに非ずと雖も今の實況は双方共に錢に熱して却て大に他日の錢を失ふものにして唯氣の毒なりと云ふ可きのみ

○英照皇太后御百日祭　京都二十日畑井特派員發

聖上皇后兩陛下は十九日英照皇太后御陵（參拜あらせられたるを以て二十日の御百日祭には何れも御代拜を差遣はされたり即ち聖上陛下は九條掌典長、皇后陛下は高倉典侍、皇太子殿下は醍醐忠敬侯、内親王殿下は姉小路掌侍に何れも御代拜を仰付られたるにより何れも午前十時前警部の先驅にて泉涌寺に着、大喪使長官有栖川宮殿下も亦海軍武官を從へ馬車にて同寺に赴かれ在京中の大喪使事務官は申すに及ばず小松宮殿下山階宮殿下西郷、清浦、土方の三大臣以下高位高爵者一同本願寺法主青山御所に奉仕せし女官等何れも參拜の爲め早朝より來集纔て午前十時久我齋主御陵前に進み積て大喪使長官宮殿下以下事務官一同御陵前に參拜し十一時何れも漸次退出せり當日は諸人の泉涌寺大門内に入るを禁じたれども非常の好天氣なりしかば同寺近傍には人出多く陛下の御參拜なかりし事とて寺院の裝飾は前日に比して稍々簡略に見受けられたり又御代拜の方々は大禮服にて長官宮殿下も海軍の禮服を着けさせ給ひ久我齋主、杉皇太后大夫のみは御大葬當時の如き喪服を着し居たり

○大喪使廢せらる

英照皇太后の御百日祭も一昨二十日滞りなく濟ませられたるを以て昨二十一日宮内大臣より大喪使の廢せらるる旨を達し其殘務は宮内省に於て取扱ふ事と爲りたる由

○農商務省の大改革

農商務省にては近々大改革を決行し組織を改め更員の淘汰を行ふ由にて官制改正其他に關し一昨夜次官局長秘書官等大隈伯の官邸に會合し協議する處あり昨日も二三の人々一室に引籠り其關係に從事せりと云ふ

○松山通信　十五日發

愛媛縣の進歩黨　未だ發表するに至らざるも愛媛縣の進歩黨は悉く脱黨すべき傾向にて今治地方青年會員中には村上代議士が相談なく脱黨したりとて一時不平を鳴し居りしも是れさへ今は其事情を知りて同代議士の脱黨を贊成するに至れり左れば近日松山に於て大會を開き將來の方針を決定すると云ふ其際鈴木代議士の報告をも併せて開くと云へり

不當屆出の調査　松山税務管理局に於ては新營業税法に依り屆出をなしたるものに事實と反したる不當の屆出をなし居るもの多しとの見込を以て嚴重に其調査をなしつゝあり營業者にありては餘り嚴重なる調査に不平を鳴し同業者中密々相談し居る向きもあり

靈兒の孵化に就て　松山及び宇和嶋地方にては信州より蕊卵紙を取寄せたる分は桑葉未だ少しも發芽せざる内に既に過日孵化したるより飼育者は大に當惑して皆之を遺棄したりと云ふ斯の如き事は當に本年にのみ限るにわらず前年來養蠶家の困難事とし居れる處なるが個は必竟塞地のものを暖地に持ち來りしに原因するなるべしと云ふ松山地方に於ける地方製造の蕊兒は來る二十四五日孵化すべき豫想にて松山養蠶傳習所にては目下準備中

小牧前知事送別會　非職愛媛縣知事小牧昌業氏は近日上京の筈なるに付き松山地方の官民有志者百五十餘名は去る十四日松山公會堂に於て送別會を開き縣會議長藤野政高氏の惜別の辭小牧氏の答辭ありて宴會に移り餘興には煙火の打揚げ愛媛音樂隊の奏樂等あり盛會なりしと云ふ

勸業銀行株の申込　愛媛縣松山地方にても勸業銀行株の人氣中々に宜しく申込多き由にて去る十五日の計算に依れば證據金十二萬圓餘に及びたりとの事にて尚ほ續々申込みつゝあり松山第五十二國立銀行に於ては其取扱方に疑ひを抱き其筋へ照會中なり

○和歌山通信　十七日發

紀和鐵道會社は土地買收の郡合上縣下伊都郡妙寺村近傍の豫定線路を變更せん筈にて過日より其測量に着手し居れり

青木畊作氏　過日三井銀行當地支店支配人に補せられたる青木畊作氏は來店前より喉咽症の氣味ありとかにて本店の許可を得て大阪に轉療したるも同地の氣候亦氏の病に適せずとて遂に去る十五日須磨に赴きたりと云ふ

和歌山電燈會社　同會社は已に建築を終へ目下機械の据附け及び點燈者への取附けを急ぎつゝあるに付き諸般整頓の上點燈するに至るは先づ來月末ならん而して同社開業の上は電氣力を市内各工業家に供給する筈に付昨今其調査中なりとぞ

和歌山銀行淡支店　同店は來る五月一日恰かも開店一週年に相當するを以て同日より向ふ五日間各取引人に景物を呈すべしと云ふ

○潜水雷艇

本國は米國ニューヨーク州エリザベス市のムクソン造船所に於て紐育のホルランド潜水會社の需に應じ建造中なる潜水爆裂水雷艇にして是は何國海軍の使用に供せらるゝものなるや未定なれども米國にては同種類のもの二隻當時バルチモーアに於て建造せしめ居る由なれば慥に米國所用のものには非ざるべしと云ふ而してホルランド潜水會社の稱する所に依れば唯だ廣く賣物に出す筈にて何人たりとも定價を拂込むものは賣渡すべしとのみとなれども去る品とは請取り難き程工事を急き居れり尤もムクソン造船所は後に大注文を引受け居るに依り成るべく早く手放れんみとを望むなりとは云へど是とて何とも計り難し而してホルランド會社の要する代價は何程なりやと云ふに同社より明言したるみとは無けれども十萬弗位なるべしなど唱へ且つキューバ嶋民より八萬五千弗にて買受けんと申込みたるに其相談は纏らざりしなりと云ふものありとか何にしても近日試運轉を行ふに至る豫定にて其時には發明者たるホルランド氏技師技手ニクソン代理者海軍士官二名乘組むべしとなり

此構造を略記すれば其全形は恰も葉卷煙草の如くにて長さ五十呎三吋幅中部に於て十呎三吋あり全躰の骨組を鋼鐵にて造り之に鋼鐵板を張る其板は中部に於て厚さ半吋兩端に至りては八分一吋たり司令塔（圖中央に人の立てるもの）直徑二呎司令官此中にあり直徑二呎司令官此中にあり

四圍を偵視するみとを得、桅は四個を具へて針路を司り直徑四呎九吋三葉推進機を以て船を行る司令塔の左右にあるもの各砲手室にして通じて四人を容るべし又は五人を容るべし總て人を載すれば此船即ち潜水し發射は空氣力に依て行ふ面には二個の水雷發射管あり舶部には一個を具ふ國水と言するものは水槽にて此船水面下に入る時は槽中に水を充し浮び出る時には別に裝置したる管より空氣を漏し此水を吸入し出す故に水を汲入れ出すを要す凡て喞筒を用ふるを要す

してキングストーン式閉鎖器に依り壓搾空氣の力を自在にす氣槽は閉塞を自在にす氣槽は發射管に接し方吋に三千封度の壓力へ此空氣は又水面下にあるの間乘員の生命を九時間の至十時間保持せしむ

ある水雷發射管には外部にありて海水の浸入を防ぐ射に臨んでは釦の働にて開き水雷放出の後其釦にて自ら閉づ船の動力はさしむべき者は電氣とにて水面駛行の際に用ひ十八馬力あり電氣は能く五十馬力の働を爲し水中には一時間八浬の速力を八時間駛行するを得水にては能く十時間に堪へし而して石油發動機を使用して電氣に改むるは誠に妙快速に行はる故に此船其任務を盡して發する時は先づ石油發動機を以て水下に達したる時他の前面にありたる時測定し射管より上方に向け第一を放ちて更に稍や進行し後艏部の第二發を放ち此爆裂水雷は挺内五分一の射距離まで駛行し前面を射ちて直ちに水を充つ之を充て一時間三十呎の下に沈むみとは分の間なるべし是よりは氣發動機を用ひて進行し